

下水排水管1800A 補修・延命補強

施工日： 2013年12月9日
施工者： (株)折原製作所

施工箇所：円周上に幅約20mm×長2200mm亀裂 10mm穴3箇所

現場条件：直管部（傾斜有）・施工時無圧、通水時約0,2MPA



①12/6調査日 高さ5m、幅約3mの地下共同溝内1800Aの下水道管



②施工箇所の状況を確認させて頂く。エルボ部から数十cm程、斜め横に落ちた所あたりに傷口を確認する。



③円周の約1/3（長2200mm）に幅20mmの亀裂、破損を確認する。



④亀裂部分の横、約10cm位の所に、10mm強の穴を3箇所確認する。



⑤施工当日 まず亀裂の部分には、穴を塞ぐ目的と強度をつける為、特注ステンメッシュ(大きい傷穴用補助部品)にオリスチール(金属粉入りエポキシパテ)を挟むように付け、亀裂部に押し付けるように充填する。



⑥続けて、10mmの穴には、オリスチールを充填し埋める。



⑦次に、マホータイの下地としてブチルロール（下地用ブチルゴム）を貼る。未顆粒の柔らかいゴムのような素材な為、細かい錆びの凹凸や隙間も埋める事が可能。



⑧施工箇所の下地となる為、1cm前後のりしろを見ながら、管肌が出ないように貼り合わせていく。（今回は施工箇所に厚みをもたせる為、ブチルロールを2重に貼る。）



⑨口径が大きい為、配管を囲うように上下・左右に5人が分かれて入り、ロールを渡しながら貼る。貼り漏れが無いように確認を行い、下地処理を終了する。



⑩最後に、防食・補強を兼ね備えた延命補強材マホータイ（特殊レジン含浸グラスファイバーテープ）を全体が4~5重となるように巻いていく。



⑪マホータイもブチルロールと同様に、配管を囲うように人員配置し、マホータイを渡しながら巻く。約70cmの範囲を巻く為、マホータイは巻き足していく。



⑫巻き終わり後、硬化剤の水を含ませ、巻いた方向に撫で付けるように絞る。施工終了後、最終確認を行い、作業を完了する。